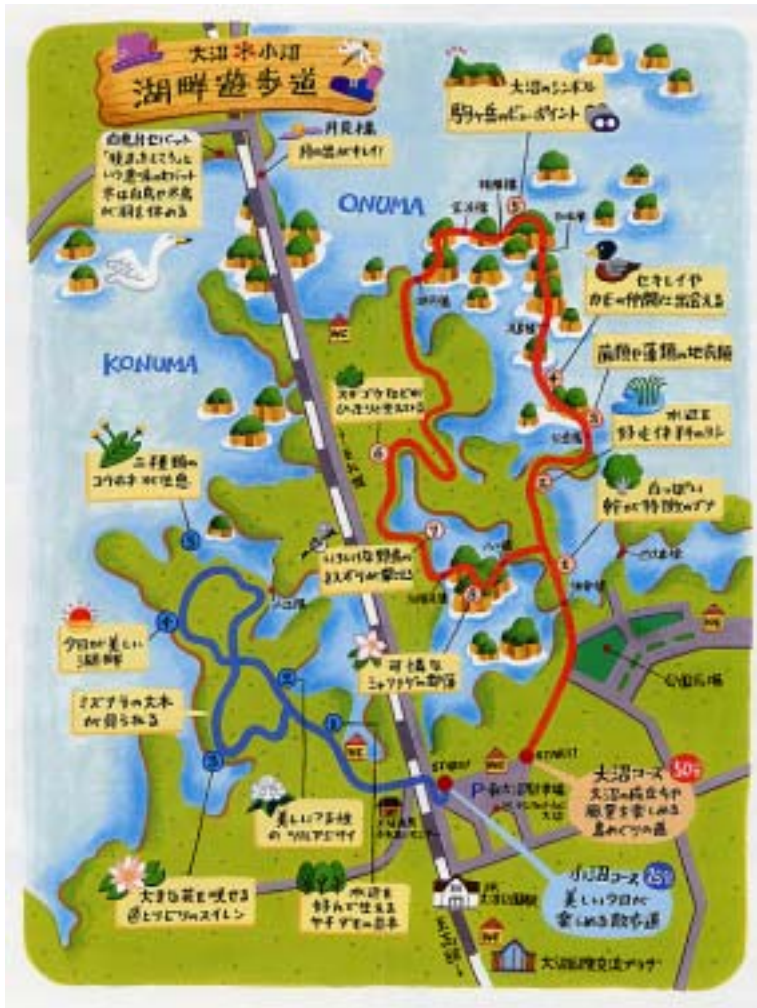


函館・大沼旅行（４）

7月31日（土）7時30分に朝食を済ませ、レストランの前のバルコニーのベンチで写真を撮った。あちこちに鳥の巣箱があり、鳥が餌を食べに来ていた。レストランには壁に双眼鏡が掛けられており宿泊客にバードウォッチングの便宜を図っていた。涼しいうちに、再度、大沼の湖畔遊歩道へ挑戦するため外出した。



今日はJRの線路東側の下図の赤い線（大沼コース）に沿って散策した。大沼コースは沢山の島を橋で結んだコースである。大沼公園駅前駐車場の端からスタートして後楽橋、白っぽい幹が特徴のブナ、



たくさんの葉を茂らせた太くて大きなミズナラ、湿地に生える植物、公魚橋、公魚島、カモやセキレイと出会う、浮島、浮島橋、アイヌ島、日の出橋、日の出島、ここ日の出島は駒ヶ岳のビューポイント、袴腰橋、呉竹島、金波橋、湖月橋（この辺は冬は白鳥の湖となるそう）、休憩所、アオコの発生が見られる、スギゴケ類などのコケ、あちこちで野鳥のさえずりが聞こえる、石楠花橋、石楠花島、石楠花の群生、八つ橋、沼

に椅子を出して釣りをする人、後楽橋を経てスタート点へ。素晴らしい散歩となった。



ホテルに帰りロビー付近を見て回った。入り口正面に Joseph U. Crawford の肖像画が掛かっていた。彼は米国フィラデルフィア生まれ(1842年)で、1880(明治13)年に小樽・手宮～札幌を結ぶ北海道で最初の鉄道旧手宮線の開通(国内で3番目)の中心的役割を果たした。このホテルの名前はこの人の名前に由来している。ロビーの横には Free Room という部屋があり、パソコンやテレビ



が置いてあり宿泊客が自由に使用できるようになっていた。

夕刻、流山温泉への無料送迎バスを利用して流山温泉へ行った。ホテル発 16時30分 - 流山温泉着 16時45分、流山温泉発 17時45分 - ホテル着 18時、流山温泉には1時間滞在し、温泉入浴と周囲散策を行った。流山温泉は世界的



彫刻家「流 政之」がプロデュースし 2002 年 4 月にオープンした異形の温泉である。駒ヶ岳が噴火して出現した巨石と巨木を大胆に配置した浴室、浴槽は源泉 100% の流し湯、駒ヶ岳を眺めながらの露天風呂は最高である。温泉の他、パークゴルフ場、キャンプ場、スポーツ広場、ダチョウ牧場、森づくり広場、彫刻公園ストーンクレージの森があった。流 政之は 1923 年長崎生まれ、海軍予備学生出身の零戦パイロット。その後へき地を放浪、彫刻にかかわる。1975 年ニューヨーク・ワールド・トレードセンターのシンボルとして 250 トンの巨大彫刻「雲の砦」をつくり国際的評価を得る。9 月 11 日のテロにより巨大建築は崩壊したが「雲の砦」は奇跡的に破壊から免れた。しかし、11 月の救命活動のため撤去された。ストーンクレージは彼の現代彫刻をあらたに調和させた神秘の空間となっている。ここから眺められる駒ヶ岳の最高峰剣が峰の容姿は大沼公園からのものとはかなり異なり岩石が積み重なっているような荒々しさを見せていた。流山温泉は JR 流山温泉駅と直結しており、北海道

へ新幹線を引きたいと言う願いから新幹線の旧型車両が置いてあった。平成 16 年 6 月 21 日に函館駅新駅舎竣工一周年を迎えたのを記念して駅コンコースに設置された流政之氏の作品「サキモリ(大地の守護神)」(ブロンズ)の除幕式が 7 月 17 日 SL 函館大沼号の夏季運転初日に合わせて行われたとのことである。

ホテルに帰って、18 時 30 分から昨日と同様レストランでほぼ同じメニューで食事した。メインは「シェフおすすめ近海産の魚料理」を選択した。これも珍味であった。